

「町田市教育プラン24-28」の一部修正について

「町田市教育プラン24-28」（以下本計画とする）について、一部修正を行いましたので、報告いたします。

1. 経過

本計画では、計画の推進手法の一つとして「OODAループ※」を活用し、常に発生する様々な事象や要因に対応し、事業の改善を行うこととしています。本件は、以下の1つの施策の成果指標及び4つの重点事業について、社会環境の変化等により一部修正の必要が生じたため、町田市教育委員会企画調整会議での承認を得て、修正を行ったものです。

2. 修正内容

(1) 「基本方針I\_施策2\_未来を見据えた特色ある学びを推進する」の成果指標

詳細は2ページのとおり

(2) 重点事業7\_町田市未来の学びLab

修正点：活動指標と工程表

②児童生徒の「つまずき」の原因とその解消に関する研究

③教育施策間の相関関係や相乗効果に関する研究（学力・体力向上、キャリア教育、協働的な学習等）

詳細は、3ページのとおり

(3) 重点事業14\_まちだの歴史・文化を学ぶ機会の充実

修正点：活動指標と工程表

②新規アウトリーチ事業件数（累計）

詳細は、4ページのとおり

(4) 重点事業25\_特別支援学級等の整備

修正点：工程表

①特別支援学級設置数（累計）

詳細は、5ページのとおり

(5) 重点事業32\_まちだの歴史・文化資源の保存と活用環境の整備

修正点：活動指標と工程表

②歴史を学ぶデジタルコンテンツ件数（累計）

詳細は、6ページのとおり

※OODAループ：環境や社会の変化、他自治体との比較等を観察し、仮説を立てるなど状況判断を行い、意思決定ののち実行に移し、ふたたび観察する行為をループして継続する。即効性が高く、期間や時期に関わらず常に変化に対応し、必要に応じて既存事業の改善や新規事業の創出につなげる仕組み。

基本方針 I		施策2 未来を見据えた特色ある学びを推進する					
目指す姿	教職員が、授業や校務等で、自らICTを活用することができている。						
施策の成果指標	指標	現状 2025年度	実績値				目標値
	授業におけるICT活用に自信をもっている教員の割合	-	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
修正理由	調査項目である「ICT活用に自信をもっている」とは、教員の主観的な感情や自己評価に基づくものであり、実際のICT活用能力やスキルの習熟度を客観的に測定することが困難であったため、事実に基づく指標に修正を行う。						
修正の内容	施策の成果指標	現状 2025年度	実績値				目標値
	他の教員やICT支援員の支援を得なくても、ICTを活用することができる教員の割合 (独自の意識調査)	80.40%			2026年度	2027年度	2028年度
					82.00%	83.50%	85.00%

基本方針 I		施策2 未来を見据えた特色ある学びを推進する					
重点事業7	町田市の未来の学びLab	所管課	指導課				
目的	学力向上や体力向上等の町田市の教育施策をより効果的なものとするために、教育分野に限らず様々な専門分野から子どもをとらえる研究を行います。						
事業概要	<p>●児童生徒の学習上での課題に対して、教育分野の専門家だけでなく、子どもの学びに関する研究を進めている様々な分野の研究者に協力を仰ぎ、課題を深く調査研究できる体制を構築します。</p> <p>●従来の学力調査等の一般的なテストでは、子どもたちが「どこでつまずいた」のかはわかって「なぜつまずいた」のかはわかりませんでした。一人ひとりの子どもたちの「つまずき」の原因を探るため、教育委員会が主体となって調査研究をします。さらに、調査研究の結果や情報を教員が子どもたちの学習や学校生活全体での指導や支援に活用できるようにします。</p> <p>●これまでの教育施策はそれぞれの目標ごとに別々の取組を進める傾向がありましたが、「学力と体力」、「学力とキャリア教育」など、教育施策間の相関関係や相乗効果に関する研究を行います。</p> <p>●これまで町田市が進めてきたICT教育や協働(共同)的な学びは、今後の町田市の教育においても中心的な施策となります。そのため、ICTを活用した町田市立小・中学校の授業や協働(共同)的な学びを行うこれからの学校の在り方についても研究を行っていきます。</p>						
活動指標と工程表	活動指標	現状 2022年度	工程表				
			2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
	②児童生徒の「つまずき」の原因とその解消に関する研究		現状把握・研究内容の決定	実証研究	実証研究・効果検証	科学的根拠の確立・教育施策検討	「つまずき」に関する施策立案
指標の達成状況	▶	—	研究内容決定	研究実施	研究実施・効果検証	根拠確立・施策検討	施策立案
③教育施策間の相関関係や相乗効果に関する研究(学力・体力向上、キャリア教育、協働的な学習等)			現状把握・研究内容の決定	実証研究	実証研究・効果検証	科学的根拠の確立・教育施策検討	
指標の達成状況	▶	—	研究内容決定	研究実施	研究実施・効果検証	根拠確立・施策検討	
社会環境の変化等の背景	<p>本事業を推進するに当たり、③のように多岐にわたる相関関係については、国や都においても明らかにしておらず、次期学習指導要領に向けて、教科・領域に関わらず、多様な子どもに対応する「個の学び」の重点化を図っています。以上のことを踏まえると、②と③を分けて事業を推進していくのではなく、まずは②の「つまずき」の原因とその解消に関する研究に注力し、子どもたちの学習や学校生活全体での指導や支援に活用できるようにすることが求められています。併せて2028年度以降を見据え、生成AIの活用についても国や都の動向を注視しながら、授業改革及びICTを活用した学びの充実と連携を図り、段階的に進めていく必要が生じています。</p>						
今後の取組の方向性	<p>本事業では、子どもたち一人ひとりの「つまずき」を単なる結果として捉えるのではなく、その背景にある「原因」に光を当てた調査研究を研究機関等と協力しながら推進するものです。背景にある「原因」を探るためには、より子どもたちを多角的に捉える必要があります。また、次期学習指導要領の方向性に即したより実効性の高い具体的な授業像を明らかにし、教員が子どもたちの学習や学校生活全体での指導や支援に活用できるようにしていく必要があるため、2つの指標を1つに集約し進めていきます。</p>						
修正後の内容	活動指標	現状 2022年度	工程表				
			2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
	②児童生徒の「つまずき」の原因とその解消に関する研究		現状把握・研究内容の決定	実証研究	実証研究・効果検証	実証研究・効果検証	実証研究・効果検証
指標の達成状況	▶	—	研究内容決定	研究実施	研究実施	研究実施	研究実施

基本方針Ⅰ		施策5 学びのきっかけとなる機会を提供する					
重点事業14	まちだの歴史・文化を学ぶ機会の充実	所管課	生涯学習総務課				
目的	・市民が町田市の歴史や文化を大切にし、郷土に愛着や誇りをもてるよう、町田市の歴史や文化を学ぶことができる機会を充実させます。						
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>●町田市の歴史や文化を学ぶことができるプログラムを作成し、小・中学校にPRを行って事業を実施します。</li> <li>●市民が町田市の歴史や文化に触れる機会の充実を図るため、町田市固有の歴史・文化資源を活用したアウトリーチ事業(学校、市民センター、子どもセンター等での講座や展示、各地域の歴史資源を活用したフィールドワーク等)を実施します。</li> <li>●毎年度効果を検証し、市民のニーズに沿った事業内容に更新しながら実施します。</li> <li>●町田ゆかりの作家や町田が登場する文学作品を紹介する展覧会・教育普及事業を実施します。</li> </ul>						
活動指標と工程表	活動指標	現状 2022年度	工程表				
			2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
	②新規アウトリーチ事業件数(累計)						
	指標の達成状況	—	2件	4件	6件	8件	10件
社会環境の変化等の背景	積極的にアウトリーチ事業に取り組んだことで、2025年度時点で、当初の目標を大きく上回る、累計14件となりました。2025年度までの実績や今後の展示・普及事業の推進予定に合わせた指標・目標設定に修正します。						
今後の取組の方向性	指標を、年間あたりのアウトリーチ事業実施件数とし、各年度の実施件数をわかりやすく記載します。また、目標値を当初目標の倍である各年度4件に引き上げ、続きアウトリーチ事業を積極的に実施していきます。						
修正後の内容	活動指標	現状 2022年度	工程表				
			2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
	②アウトリーチ事業年間実施件数						
	指標の達成状況	—	6件(実績)	8件(実績)	4件	4件	4件

基本方針Ⅲ		施策1 将来を見据えた多様な学びの環境を整備する					
重点事業25	特別支援学級等の整備	所管課	教育センター				
目的	特別な支援を必要とする児童生徒がより充実した学習環境で学べるよう、特別支援学級等の整備を行います。						
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>●知的障がい特別支援学級又は自閉症・情緒障がい特別支援学級を新規開設します。</li> <li>●特別支援学級及びサポートルームの教室等を整備し、環境改善を図ります。</li> <li>●新たな学校づくりにおける校舎建替えの際に、特別支援学級の新規開設を進め、知的障がい特別支援学級及び自閉症・情緒障がい特別支援学級の全小中学校設置を目指します。</li> </ul>						
活動指標と工程表	活動指標	現状 2022年度	工程表				
			2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
	①特別支援学級設置校数（累計）		1校 新規開設		1校 新規開設		1校 新規開設
	指標の達成状況	39校	40校	40校	41校	41校	42校
社会環境の変化等の背景	2026年度に特別支援学級を1校、新規開設する予定でしたが、設置する地域の選定に時間を要しました。また、東京都から中学校における35人学級を段階的に進めていく方針が示されたことにより、特別支援学級の開設に必要な余裕教室が減少しました。そのため、開設する学校の選定に時間を要しました。						
今後の取組の方向性	2025年度に作成した整備スケジュールに基づき、2027年度に南成瀬中学校の自閉症・情緒障がい学級を開設できるよう整備工事や運営面等に関する学校調整を進めていきます。また、2028年度に学級開設する学校とも調整を進めていきます。						
修正後の内容	活動指標	現状 2022年度	工程表				
			2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
	①特別支援学級設置校数（累計）		中学校1校 新規開設			中学校1校 新規開設	小学校1校 新規開設
	指標の達成状況	39校 (小学校27校 中学校12校)	40校 (小学校27校 中学校13校)	40校 (小学校27校 中学校13校)	40校 (小学校27校 中学校13校)	41校 (小学校27校 中学校14校)	42校 (小学校28校 中学校14校)

基本方針Ⅲ		施策2 学び続けることができる環境を整備する					
重点事業32	まちだの歴史・文化資源の保存と活用環境の整備	所管課	生涯学習総務課				
目的	・町田市の歴史や文化を伝えるため、歴史・文化資源の保存と活用環境の整備を行うとともに、デジタルとリアル双方向の活用を推進します。						
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自由民権資料館・考古資料室※1・三輪の森ビジターセンター※2では、インターネット上の「町田デジタルミュージアム」と連動した展示やアウトリーチ事業を実施します。</li> <li>●町田市の歴史や文化について知り、学ぶことができるデジタルコンテンツを作成して公開します。</li> <li>●「町田デジタルミュージアム」の利用状況を検証し、公開内容の更新を行います。</li> <li>●町田市の歴史を後世に伝えるため、重要史料群の整理を進めます。</li> </ul>						
活動指標と工程表	活動指標	現状 2022年度	工程表				
			2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
	②歴史を学ぶデジタルコンテンツ 件数（累計）		作成・公開				
	指標の達成状況	—	2件	4件	6件	8件	10件
社会環境の変化 等の背景	企画展ごとに積極的にデジタルコンテンツの作成・公開に取り組んだことで、2025年度時点で、当初目標を大きく上回る14件となりました。2025年度までの実績や今後の展示・普及事業の推進予定に合わせた指標・目標設定に修正します。						
今後の取組 の方向性	指標を、年間あたりのデジタルコンテンツ作成件数とし、各年度の実施件数をわかりやすく記載します。また、目標値を当初目標の倍である各年度4件に引き上げ、引き続きデジタルコンテンツの作成・公開を積極的に実施していきます。						
修正後の内容	活動指標	現状 2022年度	工程表				
			2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
	②歴史を学ぶデジタルコンテンツ の年間作成件数		作成・公開				
	指標の達成状況	—	6件(実績)	8件(実績)	4件	4件	4件